

未来

郵政産業ユニオン
PIWU
 全労協・郵政産業労働者
 ユニオン長崎中郵支部
 機関紙「みらい」
 NO. 3897
 18年10月12日(金)
 Fax 095-828-1953

最低賃金が10月から25円UPの 762円となったけれども……

おはようございます。

長崎県の最低賃金が十月から、それまでの七三七円から二五円引き上げられ、七六二円となった。
 といつても、全国の都道府県別のランキングでは、最下位の鹿児島より一円高いだけで、順位は四六位である。低い。

では私たちの郵便局の賃金はどうか。ハローワーク職安)に郵便局が出している職員心算のときの賃金だが、大村郵便局の内務で八百三十円。長崎中郵で内務者が七百九十円。外務では八百七十円とある。八百七十四円の全国平均よりかなり低い。これでは人は集まらないだろう。しかも長崎は坂道や階段ばかりで、仕事はきついのだ。



仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員の希望者全員の正社員化を。

めどせ、均等待遇、なくせつ差別！

ユニオンは労務法裁判に勝利するまで！

では、八七〇円で一ヶ月、一日八時間で働いて、十二万円の賃金。年収で百五十万円にしかならない。食べていけないことは自明だ。

では将来はというと、一四〇〇円台まで上がるとあるから、これで一ヶ月働き、二十万三万円だ。年収は二百八十万

円台となる。これが長崎の契約社員の実態だ。

郵政ユニオンは最低賃金で一時間の時給、二〇〇〇円を要求している。これで概算して、年間二〇〇時間働き、年収は四百万円台だ。

普通に一日に八時間働き、



食っていきける賃金を改めて求めたい。それが人間らしい仕事と生活の基礎だからだ。

では郵政には金はないのか。日本の大企業の内部留保金が十七年度に四百一十六兆円と肥大化し、問題化しているが、日本郵政は十六年度の数字で第八位、額にして三、五兆円とある。十分支払いの体力はあるのだ。郵政は企業としての自覚と責任を果たすべきである。

そこで、長崎で働く人として、県の実態を表にしてみた。資料は市販の本(四七都道府県別ランキング、日東書院)だ。その本によると、最低賃金と年収の相関関係は高く、最低賃金が高いと年収も高く逆に低いと年収も低くなるという。

また年収は、貯蓄率にも影響する。長崎の順位は四二位の千二百八十七万円で、全国平均より五百万円ほど低い結果が出ている。

長崎は全体に貧しい県で、人口の伸び率も三十九位と低

く、県外流出数は全国一位と、テレビで放送されていた。ランキングをさらにみると、雑誌、書籍購入費は四十七位、一位の長野、東京の二分の一で、年間約一百万円弱、本もあまり買っていない。

自動車保有数(一世帯別普及率)は、八十六%で四十位。ガソリン価格は日本一高い。県や業者などは「離島を抱えているから」というが、同じ離島の沖縄は別税制優遇措置(アメリカ軍対策?)で、百四十一円と断然安い。



また今年の酷暑のときに言われたが、学校の教室のエアコン設置率は全国最下位だともいう。教育に金を惜しみ、子供の成長に思いがけない長崎の政治家たちの貧しい意識、県や市に収める金はどこへ行っているのか。

いずれにしても、長崎県は、魅力に乏しく、将来の希望も見えない県ということになるのか。

期間雇用パート労働者の皆さん! 困りごとは職場の郵政ユニオンへご相談を。

1集-御手洗, 2集-向井, 3集-山田, 郵便-山口 ゆうちよ銀-上筋, 東-, 他支部・分会の役員へ。